

令和3年

建設文教委員会

6月24日

豊明市議会

建設文教委員会会議録

令和3年6月24日

午後1時35分 開会

午後1時58分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤 ひろひで	副委員長	郷右近 修
委員	いとう ひろし	委員	中村 めぐみ
委員	清水 義昭	委員	近藤 郁子
委員	毛 受明 宏		
議長	一色 美智子		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	塚谷 友昭
庶務担当係長	山田 恵子	議事担当係長	寺島 慎二

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
教育長	伏屋 一幸	教育部長	藤井 和久
学校教育課長	高木 安司		

5. 傍聴議員

堀内 ちほ	林 ゆきひろ	ごとう 学	宮本 英彦
鵜飼 貞雄	近藤 千鶴	ふじえ 真理子	近藤 善人

6. 傍聴者

なし

午後 1 時 3 5 分開会

○建設文教委員長(近藤ひろひで議員) ただいまより建設文教委員会を開会いたします。
会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長(小浮正典君) 皆様、お疲れさまです。本日の建設文教委員会に付託されました
案件は、補正予算案 1 議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろ
しくをお願いいたします。

以上です。

○建設文教委員長(近藤ひろひで議員) ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長(一色美智子議員) 建設文教委員会、御苦労さまです。慎重審議、お願いいたし
ます。

○建設文教委員長(近藤ひろひで議員) ありがとうございます。

これより会議を開きます。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○建設文教委員長(近藤ひろひで議員) 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願
います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますの
で、御承知おき、お願いします。

(市長退席をなす)

○建設文教委員長(近藤ひろひで議員) 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内
とし、委員長において一般の傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配
付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論
点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表
示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第52号 令和3年度豊明市一般会計補正予算(第5号)についてのうち、
本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者より簡潔に説明を求めます。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、学校所管分について説明しますので、補正予算書の9ページを御覧ください。

最下段、3 小学校管理事務事業238万5,000円の増額は、主に夏季休業前6日間に感染症予防のマスク着用などによる熱中症を防ぐため、児童に飲料水を配布するためのものです。

11ページを御覧ください。

2 中学校施設維持管理事業500万5,000円の増額は、主に栄中学校、杣掛中学校におけるバスケットゴール装置等取替え工事によるものです。

最下段、3 中学校管理事務事業37万9,000円の増額は、感染症防止対策として、職員室に飛沫防止用アクリル板を設置したり、空気循環のため大型扇風機を導入するためのものです。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 扇風機は……。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ページ数を言ってください。

○いとうひろし委員 ごめんなさい、8ページ、9ページの学校教育費の小学校費です。8ページ、9ページのね。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 合ってるよ。

○いとうひろし委員 扇風機は、各校各3台。パーティションは8校で110枚、小学校。中学校は3校で57枚。そうなってくると、扇風機はどの小学校も中学校も各3台なんですが、パーティションは小学校だと1校当たり13.75枚、中学校のほうだと1校当たり19枚に、割り算、割るとそうなるんですね。これはどうしてですか。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、この導入の費用としまして、今回これだけこの数を入れさせていただくんですが、一応算定基礎としまして、常勤職員の職員数割る2という形で、机の間に置きますので、といった形で計算させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 ちょっと、小学校の場合、1校当たり約14枚。例えば中央小学校の場合は、教員は、どれぐらい見えるんですか。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 常勤職員としては35名でございます。ですので、中央小学校の場合につきましては、18枚導入予定でございます。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 平均より、まだパーティションの数がやっぱり多く要と思うんですけれども、その辺、辺りは、どうされるんですか。

また、小学校の職員数と中学校の職員数、分かれば教えてください。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 職員数でございますが、小学校は8校で215名、中学校は3校で57名です。

今後、導入として、まず、常勤職員数を基に入れますが、学校に応じては机の配置ですとかいろいろありますので、この後、また必要な枚数だけ消耗品のほうで購入したいと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

関連ですか。

（関連と言えれば関連ですの声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 同じページですけども、ごめんね、今のこのパーティションは職員室の数ですよ。だから例えば、PTAの委員会やる場合の部屋とか、作法室ですかね、とか、そういう音楽室だとか、指導室やなんかのパーティションの数は、今後はどうされるんですか。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 特別室、音楽室等の特別室につきましては導入は考えておりませんが、今、言われました職員室以外の委員会室ですとか、例えば相談室、そうしたところは、学校の状況に応じて入れてく予定でございます。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかに質問ありますか。

中村めぐみ委員。

○中村めぐみ委員 今回のこの補正で、その職員室のパーティションなり扇風機の購入の予算が上がってきた理由についてお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ちょっとすみません、もう一度お願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 中村委員、もう一度お願いします。

○中村めぐみ委員 今回のこの補正予算で職員室のパーティションなり扇風機の購入の予算が上がってきた理由についてお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今回、上げた理由は、当初、感染防止対策にとっては子どもを中心に考えてました。さらに、職員室につきましては、授業中はほとんど空になって密ではないということもありまして、先生方には申し訳ないんですが後回しということで、今回、まだ、この、後回しという話は、ちょっと申し訳ないんですけど、そういうわけではなく、子どもを優先ということの考え方から少し遅くなってしまったということでございます。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 11ページの、教育費、中学校費の、中学校施設維持管理事業の各中学校営繕工事、これの工事の時期と工期を教えてください。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今から発注ですので、はっきりした明確な工期とは言えないんですが、今のところ考えるところは、なるべく夏休み中に工事を終わりたいなって考えております。若干工事によっては出るかもしれませんが、夏休みを中心にやっていきたいと考えております。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

すみません、高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 先ほど、いとう委員の御質問の中で、中学校の先生を57

名って答えたんですけど、すみません、枚数のほうが57枚でございまして、常勤の先生の数は110名ですので、訂正させていただきたいと思います。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

清水委員。

○清水義昭委員 11ページの中学校営繕工事費のところにすけれども、確認でちょっとお聞かせください。栄中学校のバスケットゴールの折り畳み式は、これは本会議で1対というような説明があったんですけど、これで正しいかどうか。

それと、同じく栄中学校のバレーボールの支柱、ポールを1本という説明があったんですけど、これ、正しいのかどうかをお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） バスケットゴールでございしますが、折り畳み式ですが、2面ついておるんですけど、そのうちの1面の1対ですね。だから、2個、バスケットゴールを替える予定でございします。

バレーボールの支柱につきましては、バレーボールを立てる基礎の部分、あそこがちょっとぐらついてますので、あそこをそっくり入れ替える予定でございします。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 バレーボールのほうなんですけれども、それは、床に、多分、これ、びゅんてやると蓋が取れて穴が空くと思うんですけど、その穴の部分をやめるのか、それとも支柱のほうをやめるのか、そこをちょっとはっきりお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） その穴の部分がぐらついてますので、基礎の部分をやりに替える予定でございします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 その穴の部分を1か所だけやるってことなんでしょうか。議案説明のときに3か所というふうにお聞きしてるんですけど、お願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 本会議でも1本ということですので、1か所です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

中村めぐみ委員。

○中村めぐみ委員 では、同じところで、本会議質疑のときに、屋外の遊具等については点検を定期的に行っているというお話があって、屋内は教職員の方が行っているということだったので、これがなぜこの違いがあるのかという部分と、なので、屋内については教職員なので、その定期点検のその計画の策定なり、何年で何かを行うみたいなものというのとは何か策定されているのかについてお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、御質問があったとおり、屋内と屋外で点検があるかないかという問題があったんですけど、屋外ですと、やはり風雨にさらされる等がございますし、遊具で結構乗って遊ぶものが多いものですから、そういった関係で毎年点検入れてます。

屋内の、今、言われとるものにつきましては、屋内にもあるということで、学校の先生の目視とか触ってみたりとかでいつも点検するという形を取っております。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 今回の件ですけれども、屋内の点検が、教師の方々が……。

（すみませんの声あり）

○近藤郁子委員 もとい。

（すみませんの声あり）

○近藤郁子委員 屋内の、そういった運動施設の点検につきましては、規定がないということではなかったですか。点検の規定は、今、定められていない。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりです。

委員長、すみません。先ほどちょっと大変申し訳ない、清水委員のところなんですけど、基礎の部分は3か所でございます。すみません、3か所です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

関連、じゃ、清水委員。

○清水義昭委員 ごめんなさい、確認ですけれども、バレーボールの支柱を立てるところの穴を3か所やって、ポールは替えないということではよろしいですか、確認です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁できますか。

（しばらくお待ちくださいの声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかに質問ありましたら。

中村めぐみ委員。

○中村めぐみ委員 先ほど屋内に関しては点検の規定がないということだったんですけれども、今回のこのことを受けて、今後、何か改善していくとかいうような検討というのはされてるのでしょうか。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、今回こういうことがありましたので、定期的に、毎年とは言いませんが、隔年もしくは計画的に点検を入れていく予定でございます。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 今回、予算計上されているのが中学校のみなんですけれども、小学校のほうはどうなっているのかだけお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 小学校につきましては、今、手続中でありまして、夏休み中に点検を入れる予定でございます。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 8、9ページの小学校の消耗品のほうに戻っていただいて、ペットボトルの配布についてなんですけれども、今回この期間、配布の期間、それから配布の時間帯、さらに、どのような状態で渡されるのかなどの説明をお願いしたいのと、先ほど、マスク着用して熱中症予防のためというようなお話があったんですけれども、そういうことであれば、ある程度、もうちょっと前から予測ができたのかなと思うので、なぜこのタイミングで予算計上したのかについてお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） やる期間につきましては、終業式の前、1週間を予定しております。

なぜこの時期にかということですので、体育の授業や何かでマスクをしとって倒れた子がおったりとかそういった情報もあったもんですから、そういった兼ね合いで、かなりマスクして過ごすのは大変だなということ。去年は、夏休み期間を授業をやるということに入れさせてもらいましたが、当初、これほど、私どもも当初の予算等ではコロナが長引くとは考えておらなかったもんですから当然上がってなかったんですが、現状を考えると、最後の1週間ぐらい、またぐっと高温になってきますので、そういった絡みから提供するのが適当だということを考えて、今回、予算計上させていただきました。

どういう形で納入かということですが、一遍に配れば一番いいんですけど、学校たくさんありますので、なかなか早い時間帯には送れないので、午前中か早い時間帯に送れるものに対しては、業者のほうの冷蔵庫で保管して送ります。全部が全部、早い時間帯に送れませんので、後半の部分につきましては、前日までに学校に納入して、学校の冷蔵庫で冷やして朝に提供できる形を考えております。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 先ほどの質問、よかったですか。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） すみません、先ほどの清水委員の質問でございましたが、私が勘違いしておりますして申し訳なかったです。基礎の部分の3か所を掘り返して入れませす。支柱については、悪くなってませんので替えませす。

以上です、すみませす。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 ちょっと細かい話になるんですけども、先ほどの説明だと、学校で保管なり業者が午前中は配送するなりっていうので、でも、どの学校も朝の時間帯に冷えたものが配布されるということであるならば、ごめんなさい、本当に細かいことになるんですけども、多分、各自水筒を持ってきてると思うんですけども、飲むタイミングとして、先にペットボトルのを与えるのか、水筒のものがなくなってから飲むのか。そのペットボトルに関しては、学校で回収をする予定があるのか等をお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 子どもの使い方については、お子さんたちのやり方があって、今、言われたほかに、空の水筒を持ってきて、去年の場合ですと、学校で詰めたという子も、あまり飲まない子ですと1本で済んでしまいますので、そういった子もいます。

そうすると、軽い状態で持ってこれるという利点もあるかなと思います。

今、言われたように、どっちから飲むかというのは、その子の選択にはなると思うんですけど、冷えたやつを提供できますので、まず飲んでいただきたいなと思っております。

あと、ペットボトルの回収方法ですが、それは業者が、次の日、商品を運ぶときに回収することになっております。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 今回は、お茶ではなくて水のみ配布ということを知っているんですけども、アレルギーの対応ということ以外に、水のほうが希望が去年多かった等、何かほかに理由があればお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 去年、麦茶を配らせていただいたんですけど、なかなか今の子ども、麦茶を飲むという習慣を私たちの時代とは違ってなくて、飲めない子もおる、そのアレルギー以外に。あと、外国の子たちは飲む習慣がない。すると、なかなか私は麦茶がいい、水がいいという、またそれはまた難しい問題が出てきますので、一番無難な飲料水の提供ということに今回させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところなんですけど、ペットボトルの内容量がどれぐらいのものを予定しておるのかっていうのと、1本の単価をどれぐらいで予算計上しておるのかっていうのをお願いします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 内容量は500ミリリットルでございます。

単価につきましては、まだちょっと発注前なので、どうしようねという話なんですけど……。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってくださいね。

清水委員。

○清水義昭委員 その単価の中には、その回収料も含めた単価っていうことで契約をされるような予定でよろしいでしょうか。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それも仕様に入った形で発注する予定でございます。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いいですか、清水委員。

○清水義昭委員 はい。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 賛成の立場で討論申し上げます。

中学校費のバスケットゴールや防球ネットなどの不具合を改修する営繕工事につきましては、点検について規定がないというものの、今後は、できれば点検項目なども設定していただいて定期的に行っていただいて、事故を未然に防ぐようお願いしたいと思います。それを付け加えて賛成討論とさせていただきます。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 中村委員。

○中村めぐみ委員 賛成の立場で討論をいたします。

まず、各小中学校の消耗品費のパーティション、扇風機なりの感染対策についてなんですけれども、やはり、その子どもを中心に考えていてっていう部分で、なぜ今頃予算化されるのかというところで、今回、予算化したのであれば、早急に取り組んでいただきたいという点。

それから、中学校の営繕工事費については、先ほどの郁子委員と同じで、壊れて危なくなってから修繕するのではなくて、規定がないのであれば、今後その定期的に点検をしっかりと行うなどして予防保全のほうで心がけていただきたいなと思います。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 賛成の立場で討論いたします。

コロナ感染症予防対策に効果があるパーティションと、換気に有効な扇風機の職員室の設置の遅れ、これは子どもたちを優先させた結果だと思います。子どもや先生方の感染症予防対策には、今後も強化していただきたいと思います。

あと、今年の夏も猛暑になると予報されています。子どもの登校中の熱中症も、とても心配です。昨年実施された飲料水の配布については、児童からも保護者からも大変喜ばれ

た事業であります。今年度も実施されることは必要と感じます。同時に、日々、子どもたちの安全を守ってくださるスクールガードの方への支援も併せて要望させていただきます。

最後に、中学校に関しては、点検によって経年劣化の箇所などが見つかり、生徒たちの事故にもつながることを考えると、早急に対応していただくことが必要と思います。そして、今後も事故等の防止に努めていただくことをお願いして賛成といたします。

以上です。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 賛成の立場で討論します。

小学校の消耗品費のほうでペットボトル500の水を配布するという事なんですけども、昨年度、確か自分がお茶を配布するっていうところも、水も加えてくれるっていうようなことを申し上げたと思うんですけども、最近お茶が確かに飲めないような子とかアレルギーとかが多くて、お茶、水、混ぜると煩雑になるということで今回は水のみにしたということは非常に評価しています。ありがとうございます。

それから、各中学校の営繕工事費のほうでバスケットゴールなんかは傷んでるっていうふうなことなんですけども、本会議のほうでも一般質問のほうでそのような話が出たというふうに聞いてますけども、定期的に点検して事故が起こらないような、児童生徒が安全に学習できるような環境を整えていただくことを要望しまして賛成といたします。

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第52号のうち、本委員会所管部分については原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第52号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（近藤ひろひで議員） ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後1時58分閉会